

切手で京都を巡る

京都を描いた切手は約 200 種類も発行されてます。
その中から京の四季、寺院、祭り、街、伝統品などに目を止めました。
京を思い出し、新たな京を見つけていただければと思います。

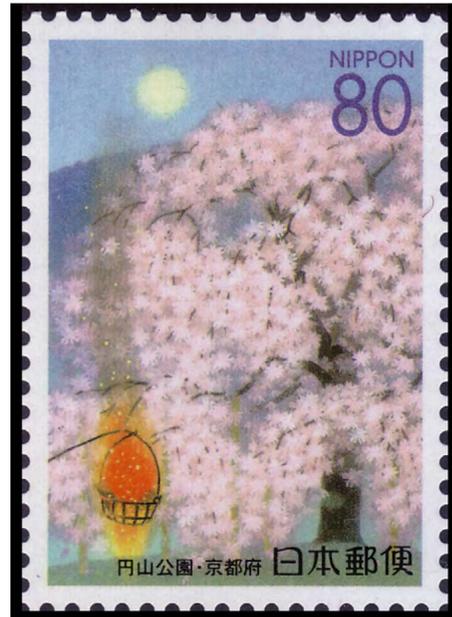
京の四季 春



府立植物園しだれ桜
1カ月以上、約130品種・450本の桜が観賞できます



仁和寺の御室桜
背の低い桜



円山公園の夜桜



シダレザクラ
京都府県花

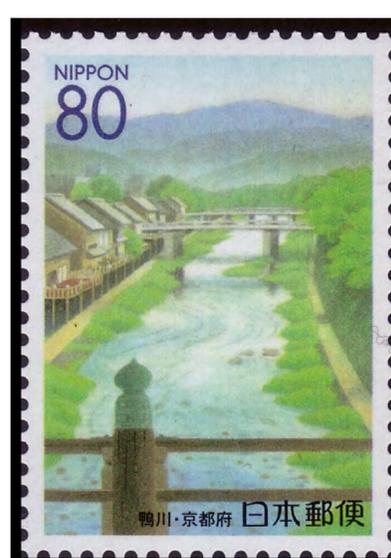
1 京の四季 夏



保津川下り



送り火



鴨川の納涼床



祇園祭

京の四季 秋



清水寺



嵐山 渡月橋

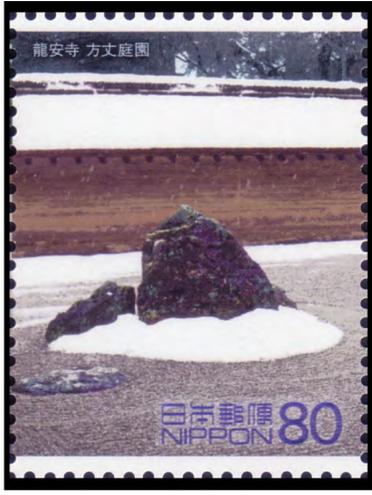


高山寺 表参道



化野念仏寺

京の四季 冬



龍安寺 雪の石庭



鹿苑寺雪の金閣



慈照寺雪の銀閣



北山杉にふる雪

京のまちを



産寧坂周辺



町屋軒下の犬矢来



祇園白川

3

京のひかり



清水寺



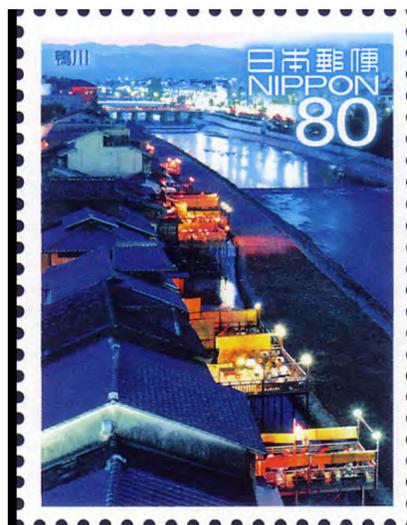
高台寺 紅葉の夜景



正伝寺 月光



花見小路通



鴨川 夜景 河床料理



舞妓と京の街並み

4

郵便切手類模造等取締法で許可される 10cm以上で切手を表示しています。

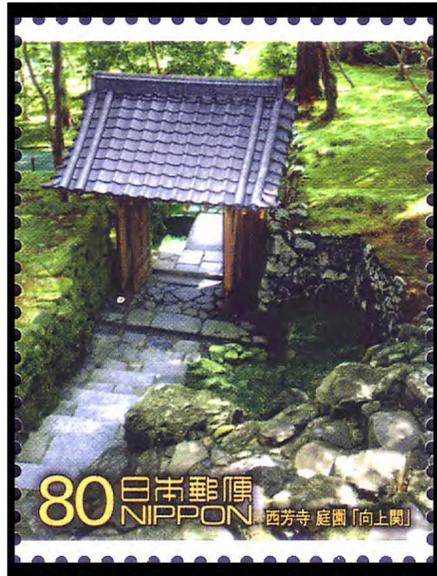
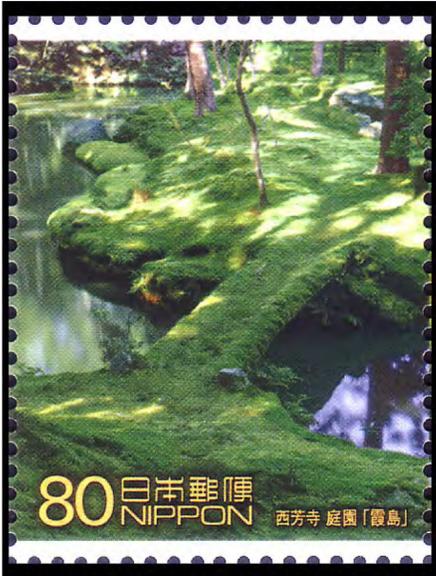
庭を味わう



修学院離宮



高台寺



西芳寺 (苔寺)



天龍寺

5



三千院



三千院 有清園



醍醐寺



化野念仏寺



詩仙堂



祇王寺



正伝寺

6

郵便切手類模造等取締法で許可される 10cm以上で切手を表示しています。

建物と内にある美



桂離宮 松琴亭床の間の市松模様と釘隠し



桂離宮書院



本願寺 唐門と書院



二条城 二の丸御殿の車寄と遠侍の屋根



二条城二の丸御殿(国宝)の大広間 二の間を飾る障壁画(襖絵)

7



平等院屋根 金銅鳳凰



平等院鳳凰堂



雲中供養菩薩像 鳳凰堂の壁面



東寺 五重塔



東寺 大威徳明王



常寂光寺五重塔



法観寺五重塔 八坂の塔

8

郵便切手類模造等取締法で許可される 10cm以上で切手を表示してます。



醍醐寺五重塔

醍醐寺



月光菩薩像



月光菩薩像扇面散貼付屏風 俵屋宗達作



清水寺



南禅寺三門



南禅寺境内 水路閣
琵琶湖疎水 1888年完

9



同志社礼拝堂
建設 1886年



中京郵便局



建設 1902年



聖ヨハネ教会堂
建設 1902年



旧日本銀行京都支店
建設 1906年



京都大学時計塔
竣工 1925年

10

郵便切手類模造等取締法で許可される 10cm以上で切手を表示しています。

京の祭



葵祭

5月 下鴨神社、上賀茂神社



祇園祭

7月 八坂神社



時代祭

10月 平安神宮

11

京の伝統工芸



京扇子



京友禅



西陣織



京くみひも

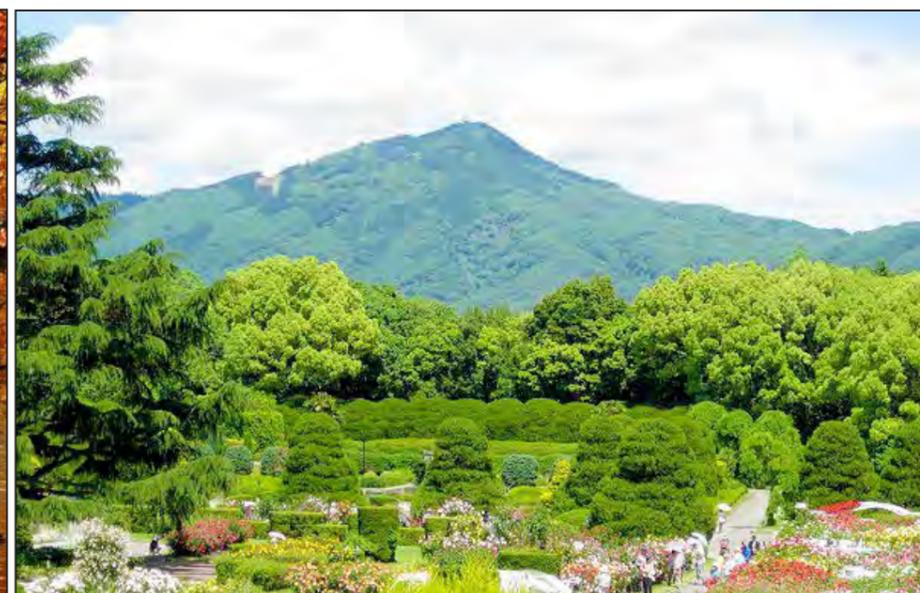
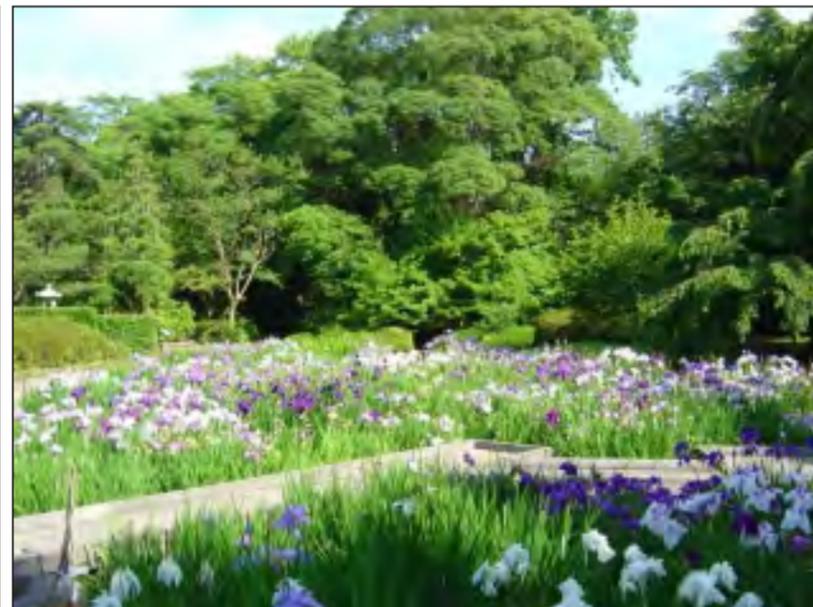
12

郵便切手類模造等取締法で許可される 10cm以上で切手を表示しています。

京都府立植物園

京都市左京区にある植物園。日本で最初の公立植物園として、1924年（大正13年）1月1日に開園した。戦後12年間は連合軍に接収され閉園を余儀なくされたが、1961年（昭和36年）4月に再開した。

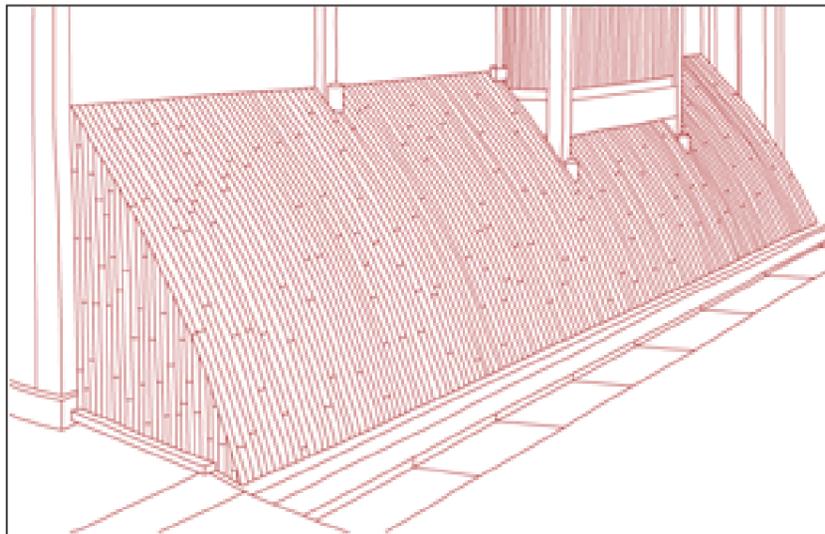
園内には面積24ヘクタールの広大な敷地に約12000種類、約12万本の植物が植えられている。日本の四季の花が見られる花壇や洋風庭園、熱帯植物を集めた温室がある。北半分は半木（なからぎ）の森と呼ばれる自然に近い森を利用した生態植物園などがある。ウィキペディアより



犬矢来

京都の町屋などにある軒下の防護柵のようなものを指します。犬矢来（いぬやらい）の由来（犬をやろう（追い払う））は犬の放尿除けにある、とよく言われます。しかし、実用性も高く柱や板塀の地面近くの部分は水が飛び散って腐食がほかの所よりも早く進みます。車馬のはねる飛沫（ひまつ）や雨が地面に当たって、跳ね返ったりもしますので、かなり傷みやすい部分です。その痛みや腐りを少しでも防ごうと考えられたのが、「犬矢来」です。また、泥棒除けにもなっていることも考えられます。

もう一つ、江戸時代、京では尿は商品として扱われたため、京で男女区別なく見られた立ちションの尿を集めるために設けられた辻便所、軒便所、門脇便所での排尿へ誘導するためであるという説もあります。（阿木 香、荒俣 宏 日本トイレ博物誌）



今の犬矢来は高額な屋外の調度品

銘竹「白竹」と本和釘「皆折釘」を使った犬矢来は1mで10万円



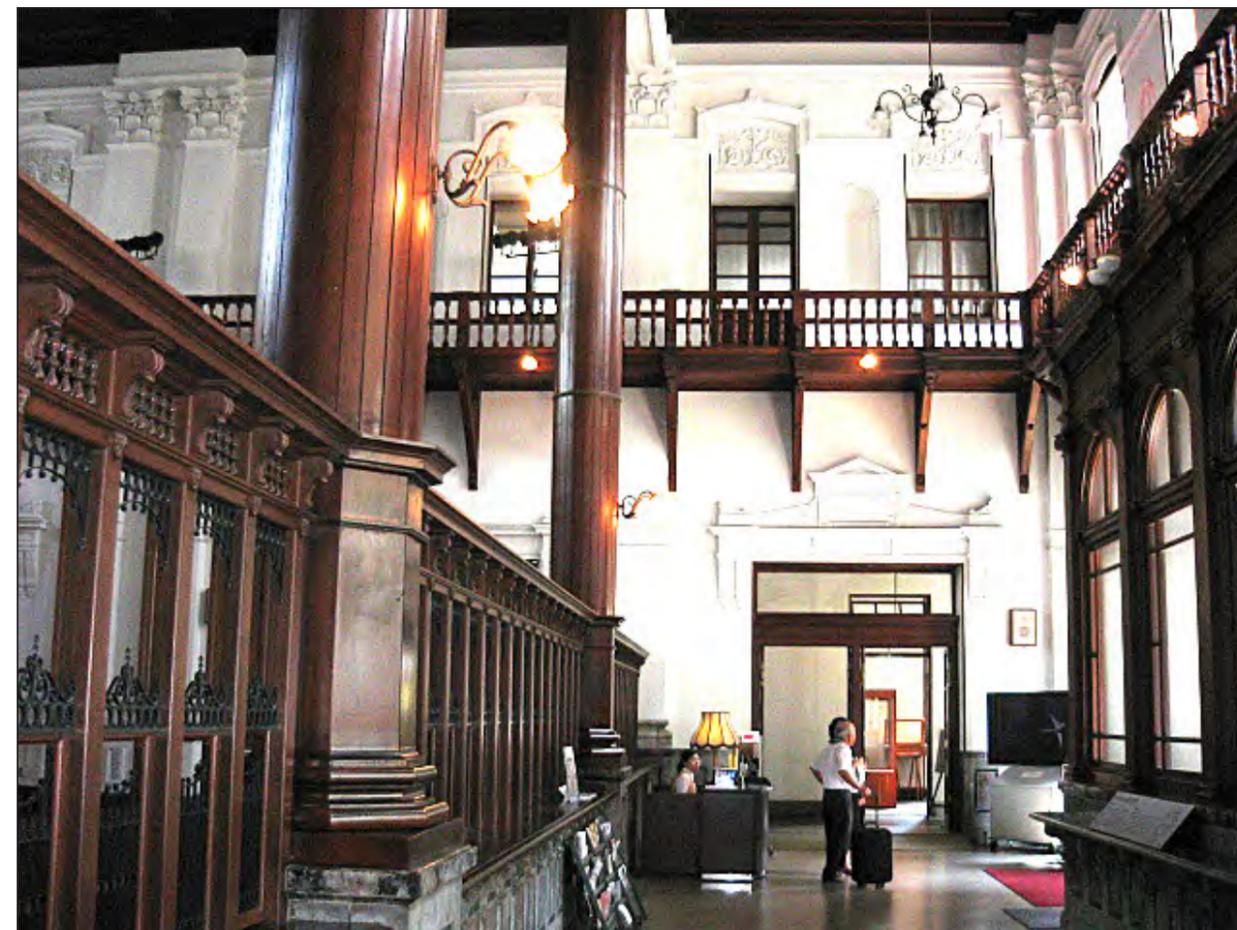
江戸時代の辻便所

樽に集めた尿を売るため、ここへ立ちションを誘導することが犬矢来の目的という説もある。



中京郵便局（なかぎょうゆうびんきょく）

ネオルネッサンス様式のこの建物は、昔の建物の雰囲気を残したまま中を改装する「外壁保存」という手法が使われた第一号です。看板はありませんが、建物自体が看板の役目を果たしています。

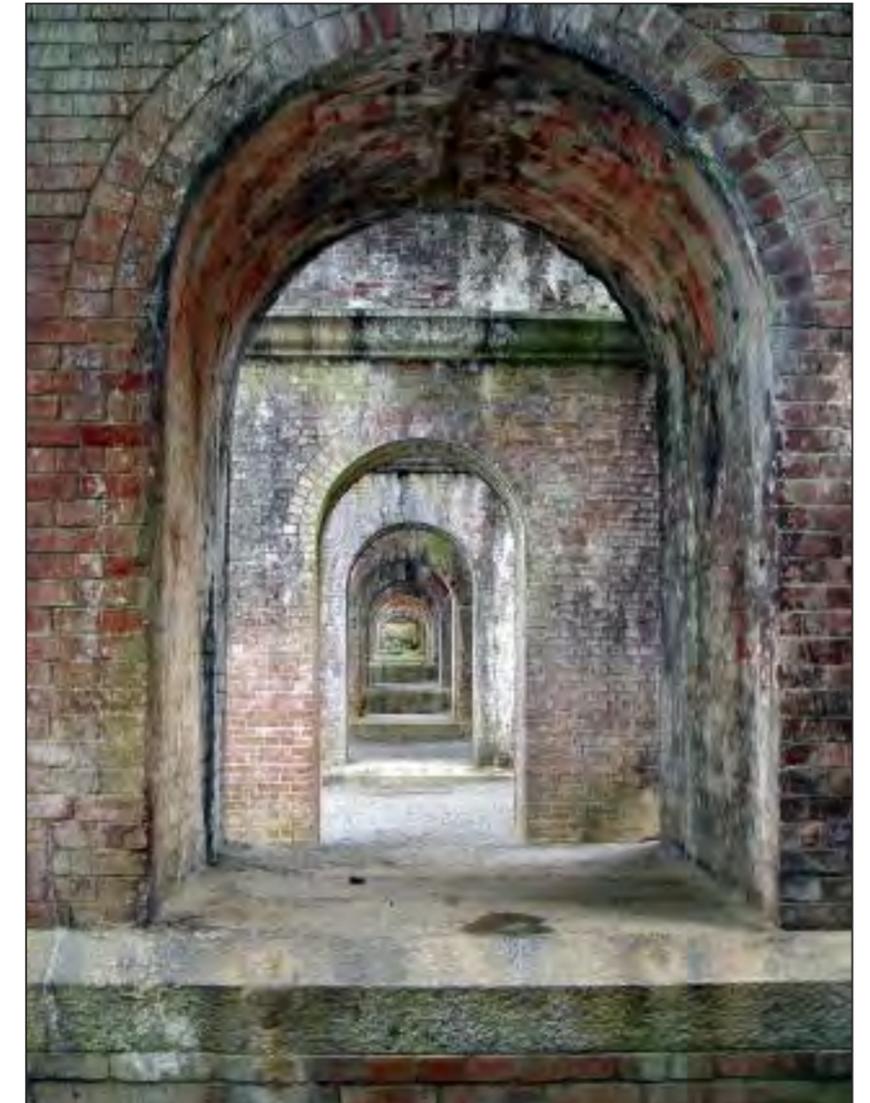


中京郵便局
風景印

南禅寺境内 琵琶湖疎水 水路閣

疎水は、琵琶湖から京都市に向けて引かれた水路である。大津市で取水され、南禅寺横を通り京都市東山区蹴上迄の区間。疎水の工事は1885年に始まり、1890年に竣工。

疎水の目的は大阪湾と琵琶湖間の通船や水車動力による紡績業、灌漑用水、防火用水などであったが、水力発電の有利性が注目され蹴上に発電所が建設され、91年には送電を開始した。また同時に蹴上浄水場が建設され、現在は上水道の水源として利用されている。



西芳寺

京都市西京区松尾にある臨済宗の寺院。天龍寺の境外塔頭である。一般には苔寺（こけでら）の通称で知られる。山号を洪隠山と称する。本尊は阿弥陀如来、開山は行基と伝え、中興開山は夢窓疎石である。「古都京都の文化財」として世界遺産に登録されている「庭園」は国史跡・国特別名勝に指定されており、下段の心字池を中心とし、四つの島で形成されている池泉廻遊式の庭園と、上段の枯山水の庭園の二つに分かれている。庭園は近世になって苔に覆われ始めたといわれている。寺の温度、湿度などが苔の生育に適していたためであろう。苔の種類は百種を超えるという。

昭和52年(1977年)より事前申込(往復はがき)による少数参拝制を実施。拝観料は最低一人3000円



下段の心字池を中心とし、四つの島で形成されている池泉廻遊式の庭園



上段の枯山水の庭園



桂離宮 書院



書院



松琴亭



水仙の花の釘隠し



市松模様の襖と壁

